

# 江津市地域公共交通会議

平成20年3月21日設置  
平成21年3月23日連携計画策定



## 江津市地域公共交通総合連携計画（平成21年3月23日作成）

（基本方針）

- ①4条バス路線の運行効率化
- ②交通不便地域における移動手段確保
- ③公共交通の利便性向上と利用促進

（目標）

- ①4条バス路線の運行効率化とサービス見直しにより、利用者の増加と経費削減を目指す。
- ②新たな交通システムの導入等により、市民の移動可能性を拡大し、交通不便地域を縮小、解消する。
- ③公共交通の利便性向上と高校生の利用促進、エコ通勤の推進により公共交通への転換を図る。

（区域）

江津市全域

（計画期間）

H21年度～H25年度

## 江津市地域公共交通会議

○構成員：

市民・利用者代表、学識、交通事業者、  
交通労組代表、道路管理者、警察、  
商工団体、福祉団体、交通行政機関



## 総合事業計画の前提条件

①公共交通の役割分担の明確化

・JR山陰本線・三江線と、4条路線や地域内路線の競合を回避する。

②2層の構造の運行形態

・4条路線と地域内路線を結節点で接続する2層構造を基本とする。

## 総合事業計画の概要

### 1. コミュニティバスの実証運行

交通空白地域である江津地域中部（川平地区）に新たな公共交通システムを導入し、交通不便地域の縮小、解消を図る。

○バス車両の購入

・例：10人乗りワゴンタイプ

○実証運行の実施

・JR三江線川平駅及び石見交通川戸線川平駅口バス停を結節点として運行

○運行計画の周知広報と成果の検証

・時刻表などの事前配布による広報  
・乗客アンケートや利用実績の検証

### 2. 公共交通に関する情報提供

わかりやすい情報提供やエコ通勤の広報を行うことで、利用促進を図る。

○公共交通総合時刻表の作成と配布

### 【実証運行の概要】

・運行日 2日/週  
・運行便数 3便(朝・昼・夕)  
・運行形態 事前予約制を検討  
・運賃 300円(予定)  
・運行事業者 民間に委託

